



みんなのひとみ輝き笑顔あふれる明小学校

本物に触れる、心躍る楽器体験

9月2日(水)、文化芸術体験事業の一環として、金管楽器&マルチパーカッション奏者のグループ「オルカブラス」の皆様にお越しいただき、トランペットとトロンボーンの楽器体験を行いました。オルカブラスの皆様には、三日間、大阪からお越しいただき、はじめの二日間は、子どもたちと楽器の体験や三日目のゆうすげ学級に向けて合唱や合奏と一緒に練習するプログラムをしていただきました。

体験は、いきなり楽器を吹くのではなく、まず「マウスピース」だけで音を出すところからスタートしました。唇の使い方や息の吹き方を教えていただき、子どもたちは何度も挑戦しました。最初はなかなか音が出なかった子も、少しずつコツをつかみ、「プーッ！」と音が出ると、うれしそうな表情を見せていました。

そして、マウスピースで音が出るようになると、いよいよトランペットやトロンボーンに取り付けて、本物の楽器から音を出します。初めて手にする楽器に少し緊張しながらも、子どもたちは一生懸命に息を吹き込みました。さらに、音が出るようになると、「ド・レ・ミ・ファ……」と音階を付けて音を出すことにも挑戦しました。

「音が出た！」という喜びは、子どもたちにとって、大きな自信になったことと思います。

一日目の楽器体験の様子と二日目の歌の練習の様子



音楽でつながる、心が一つになる ～PTAゆうすげ学級～

9月4日（金）、今年度のPTAゆうすげ学級を行いました。今年度は、二日間子どもたちと交流をしていただいた、「オルカブラス」の皆さんをお迎えし、素晴らしい演奏を聴かせていただきました。

演奏は、「ドラゴンクエスト序曲」でスタートしました。会場いっぱいに響き渡る金管楽器の音色と迫力に、子どもたちは一気に音楽の世界へ引き込まれていきました。その後も、子どもたちが知っている曲をたくさん準備してくださり、親しみのあるメロディーに、自然と笑顔がこぼれていました。

演奏の合間には、楽器の紹介もしていただきました。先日、体験させていただいたトランペットやトロンボーンに加え、ホルンやチューバ、ドラムセットなど、さまざまな楽器の音色を実際に聴かせていただきました。楽器によって音の高さや響き、迫力が大きく異なることに、子どもたちは興味津々でした。

そして、オルカブラスの皆様の演奏に合わせて、全校児童で「校歌」「カントリーロード」「風になる」の3曲を歌いました。聴くだけではなく、自分たちも演奏に加わることで、会場はさらに温かな雰囲気になりました。

さらに、5・6年生は、昨年度の音楽の時間に練習した「ルパン3世」を、一緒に演奏しました。プロの演奏者と子どもたちが一緒に音楽をつくるという、貴重な経験となりました。

この日の会場には、さまざまな「音楽の力」があふれていました。演奏に合わせて手拍子をするうちに、会場全体が一つになっていく場面。思わず笑顔になる場面。美しい音色にうっとりとしきり聴き入る場面。そして、迫力ある演奏に圧倒される場面。音楽を通して、一人一人の心が動き、それがいつしかみんなの心をつないでいました。楽しい時間は、本当にあっという間に過ぎていきました。

子どもたちにとって、素晴らしい音楽に直接触れ、仲間や保護者の皆様と感動を共有したこの時間は、きっと心に残る大切な経験になったことと思います。

